



「音曼茶羅」を奏でるカッ  
プル—小矢部市のクロス  
ランドタワー

## 2人の心も調和

クロスラン  
ドタワー—高岡のお鈴を設置

小矢部市のクロスラン  
ドおやべ内、クロスラン  
ドタワー展望台に二十三  
日、高岡銅器製のお鈴で  
できた中国古代の打楽器  
「編鐘」が設置された。

十二支の干支ごとの音が  
鳴らせる十二のお鈴から  
なり、クロスランドでは

「恋人の聖地」に認定さ  
れた展望台の名物になる  
よう期待している。

編鐘は「音曼茶羅」の  
愛称で、高岡市内免の山  
口久乗が製作した。中国  
の歴史書、史記に記され  
た、方位や暦と深いわか  
りがある「十二律」を

の「ドレミファソラシ  
ド」とは異なる音階を構  
成しており、どの複数の  
音を鳴らしても和音を奏  
でる特徴がある。

設置には山口久乗社  
長、山口敏雄さん（左）が  
立ち会い、ハート形の島  
を持つオアシスの海を見  
下ろす窓に取り付けた。

岩堀恭一クロスランド館  
長は「訪れたカップル  
が、自分の干支の鈴を鳴  
らして、調和する音を楽  
しんでほしい」と話した。

西